



April Fools' Day：授業アイデア（簡単版）

エイプリルフールをテーマにした英語の授業アイデア 4本 Class _____ No. _____ Name _____

1. ウソ？ホント？4月1日ニュース判定

中学・15分

🌀 短い英文ニュースを聞いて、本当の出来事かエイプリルフールのウソかを英語で判断し、理由を言う。

1. 先生が「スパゲッティの木」「Gmail発表」「左利き用バーガー」「ビッグ・ベンのデジタル化」など6本の短い英文ニュースを読む。
2. 生徒は1本ごとに True news! / April fool! のカードを上げる。
3. 答え合わせ。Gmailのように「本当なのにウソだと思われた」例があることを紹介する。
4. I think it's a joke because ... の形で、だまされないための手がかりを1つ言う。

2. 隠しメッセージ入りウソ広告を作ろう

高校・45分

🌀 1985年のシド・フィンチの記事のように、頭文字に隠しメッセージを入れた英語のウソ広告を書く。

1. シド・フィンチの記事の小見出しの単語の頭文字が Happy April Fools Day になっていた話を紹介する。
2. 班ごとに架空の新商品（例：宿題を自動でやるペン）を決める。
3. 広告の1文目の各単語の頭文字で APRIL FOOL などの言葉ができるように英文を工夫する。
4. ほかの班の広告を読み、隠しメッセージを見つける。

3. 背中の魚をあてろ！（Poisson d'avril クイズ）

小学校・15分

🌀 フランスの「4月の魚」の習慣を体験しながら、Yes/No の英語の質問に慣れる。

1. 魚の形の紙に英単語（動物や食べ物）を書き、ひとりずつ背中に貼る。
2. Is it an animal? Can I eat it? など、Yes/No で答えられる質問を友だちににする。
3. 自分の背中の単語がわかったら It's a ...! と言って魚をはがす。
4. 最後にフランスでは4月1日に紙の魚を貼っていたずらすることを紹介する。

4. ジョークか、フェイクニュースか：メディアと笑いの討論

大学・60分

🌀 advanced の英文を読み、エイプリルフールの報道ジョークと誤情報の境目を英語で議論する。

1. advanced の英文を読み、1957年の苦情や2020年のグーグルの判断の理由をまとめる。
2. 「報道機関は4月1日にウソのニュースを流してよいか」で賛成・反対に分かれる。
3. それぞれ3分ずつ英語で意見を述べ、反論する。
4. 許されるジョークの条件を班で3つ決めて発表する。



1. ウソ？ホント？4月1日ニュース判定

授業手順書（詳細版）／対象：中学／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

短い英文ニュースを聞いて、本当の出来事かエイプリルフールのウソかを判断し、I think it's a joke because ... の形で理由を言える。

準備

- ニュース6本（先生が読む）：① Spaghetti grows on trees in Switzerland. (BBC, 1957) ② Google starts a free email service called Gmail. (April 1, 2004) ③ Burger King sells a burger for left-handed people. (1998) ④ Big Ben will get a digital clock. (BBC, 1980) ⑤ Put a nylon stocking over your TV, and you can see color. (Sweden, 1962) ⑥ Google will not make April Fools' jokes this year. (2020)
- 答え：②と⑥が True news!、ほかの4本が April fool!
- 生徒1人に2枚のカード（True news! / April fool!）
- このサイトの英語ページの音声（本文の Gmail の部分）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	4月1日にはウソのニュースを流すことがある、と伝える。April fool はウソをついた人ではなく、だまされた人のことだと教える。カードの上げ方を練習する。	2枚のカードを持ち、先生のあとに True news! / April fool! という。	"On April 1, some news is not true." "An April fool is a person who is tricked." "Listen to the news. Is it true?" "Show me a card. True news, or April fool?"
展開1	6	ニュースを1本ずつ2回読み、生徒にカードを上げさせる。上げた理由を2〜3人に日本語で聞く。答えはまだ言わない。	ニュースを聞き、1本ごとにカードを上げる。理由を考える。	"Number one. Spaghetti grows on trees in Switzerland." "One more time. Now show me your card." "Why did you choose that card?" "OK. Number two."
展開2	3	答え合わせをする。Gmail は本当なのに多くの人がウソだと思ったこと、2020年のグーグルはコロナの流行中で冗談をやめたことを紹介する。	答えを聞き、正解した数を数える。	"Number two is true! Many people thought it was a joke." "Number six is true, too. It was during COVID-19." "The other four were April fools." "How many did you get right?"
まとめ	3	だまされないための手がかりを I think it's a joke because ... の型で1人1言わせる。例：because spaghetti doesn't grow on trees.	ペアで1文ずつ言い合い、数人が全体に発表する。	"How can you find a joke?" "I think it's a joke because spaghetti doesn't grow on trees." "Tell your partner one reason." "Don't be an April fool!"

板書例

True news! or April fool!

- ① spaghetti tree → fool ② Gmail → TRUE
③ left-handed burger → fool ④ Big Ben → fool
⑤ stocking TV → fool ⑥ no jokes in 2020 → TRUE

I think it's a joke because ____.

April fool = だまされた人

評価のポイント

- ニュースを聞き、内容を理解してカードを選んでいるか（当たり外れより、理由を考えているか）。
- I think it's a joke because ____ で、理由を1文で言えているか。

つまづきへの手だて

- 聞き取りがむずかしい生徒のために、ニュースの英文を黒板に貼ってから2回目を読む。
- 理由が英語で言えない生徒には、because のあとに doesn't / can't を使う例を2つ示して選ばせる。

発展

- 基本セット p.2 の4択/TF でエイプリルフールの本文問題を解かせる。
- 生徒に1本ずつウソのニュースを作らせ、ペアで判定し合う。

使う教材

- 基本セット p.2（4択/TF）
- このサイトの英語ページの音声



2. 隠しメッセージ入りウソ 広告を作ろう

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class _____

No. _____

Name _____

ねらい

1985年のシド・フィンチの記事のように、各単語の頭文字に隠しメッセージを入れた英語のウソ広告を書ける。

準備

- シド・フィンチの話の要約（1985年、『スポーツ・イラストレイテッド』が時速168マイルの球を投げる新人投手を紹介。小見出しの単語の頭文字をつなぐと Happy April Fools Day になっていた）
- 見本の広告：宿題を自動でやるペン Amazing Pen Really Is Lightning-fast: Finishes Our Overdue Lessons!（頭文字で APRIL FOOL）
- 広告用のA4用紙を班に1枚、英和辞典
- 基本セット p.5（暗号）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	7	シド・フィンチの話英語で短く紹介し、多くの読者が信じたことを伝える。見本の広告を見せ、隠しメッセージを見つけさせる。	見本の広告を読み、頭文字をつなげて APRIL FOOL を見つける。	"In 1985, a sports magazine wrote about a pitcher named Sidd Finch." "The article said he could throw a ball at 168 miles an hour." "But look at the first letters of the words in the subtitle." "Read this ad. Can you find the hidden message?"
展開1	8	班ごとに架空の新商品を決めさせる。名前・できること・値段の3点をメモさせる。本物らしく見せるコツ（数字を入れる、まじめな言い方にする）を伝える。	班で商品を決め、英語で名前と特徴をメモする。	"Make a fake product with your group." "What is its name? What can it do?" "Add numbers. Numbers make a story look real." "Use a serious style, like a real ad."
展開2	18	広告の1文目（またはキャッチコピー）の各単語の頭文字で APRIL FOOL などの言葉ができるように英文を作らせる。むずかしい班は FOOL や JOKE の4文字でよいとする。文法と意味が通じるかを机間指導で確認する。	辞書を使いながら、頭文字がメッセージになる英文を作る。広告の残りの説明文も2〜3文書く。	"Write the first letters of your message down the side." "Find a word for each letter." "Does your sentence make sense?" "If APRIL FOOL is too long, try FOOL or JOKE."
展開3	8	広告を教室に貼り、ほかの班の広告を読んで隠しメッセージを探させる。見つけた班名とメッセージを用紙に書かせる。	ほかの班の広告を読み、隠しメッセージを見つけて書く。	"Walk around and read the other ads." "Can you find the hidden message?" "Write the group name and the message." "Would you believe this ad?"
まとめ	4	いちばん本物らしくった広告と、いちばん上手に隠した広告を投票で選ぶ。ウソの広告でも、読み手が怒らない工夫が大切だという点にふれる。	2つの部門に投票し、理由を一言で言う。	"Which ad looked the most real?" "Which message was hidden the best?" "A good April Fools' joke is fun for everyone." "Nobody should get hurt."

板書例

Sidd Finch (1985) : 168 mph / hidden message → Happy April Fools Day

A - Amazing
P - Pen
R - Really
I - Is
L - Lightning-fast:
F - Finishes
O - Our
O - Overdue
L - Lessons!

コツ : numbers / serious style / no one gets hurt

評価のポイント

- 頭文字で隠しメッセージができ、しかも英文として意味が通じているか。
- 広告の説明文で、数字や具体的な特徴を使って本物らしく書けているか。

つまづきへの手だて

- 単語が思い浮かばない班には、A〜Zの頭文字ごとに使いやすい単語のリスト（Amazing, Perfect, Really, ...）を渡す。
- 長いメッセージがむずかしい班は FOOL / JOKE の4文字にし、説明文の質を重視させる。

発展

- 基本セット p.5 の暗号を解かせ、自分たちでも暗号の問題を作らせる。
- 広告の最後に、4月2日に出す「ネタばらし」の1文を英語で加えさせる。

使う教材

- 基本セット p.5（暗号）
- 英和辞典
- このサイトの英語ページの音声



3. 背中の魚をあてろ！ (Poisson d'avril クイズ)

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

Is it an animal? / Can I eat it? などの Yes/No の質問をして、自分の背中の単語をあてられる。

準備

- 魚の形に切った紙（人数分）。1枚に1つ英単語と絵（cat, dog, apple, banana, pizza, rabbit など）
- 貼ってはがせるマスキングテープ
- 質問カード（Is it an animal? / Is it a food? / Can I eat it? / Is it big? / Is it red?）を黒板に貼る
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（fish, spaghetti, burger など）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	2	魚の紙を見せ、今日は背中にこの魚を貼ってクイズをすると伝える。由来は最後に話すので、ここでは言わない。	魚の紙を見て、何をするのか予想する。	“Look. It's a paper fish.” “There's a secret word on it.” “I'll put it on your back.” “You can't see it. Ask questions!”
展開1	3	質問カードを読み、全員でリピートさせる。先生の背中に1枚貼り、児童に答えてもらいながら見本を見せる。	質問をリピートし、先生の質問に Yes / No で答える。	“Repeat. Is it an animal?” “Can I eat it? Is it big?” “Let's try. I have a fish on my back. Is it an animal?” “Yes? Is it big? No? Is it a cat?”
展開2	8	全員の背中に魚を貼り、教室を歩いて友だちに質問させる。1人に1つだけ質問するルールにして、多くの友だちと話させる。わかったら It's a ...! と言って魚をはがし、先生に見せに来させる。	友だちに Yes/No の質問をして答えを集め、自分の単語をあてる。	“Walk around. Ask one friend one question.” “Answer with Yes or No.” “Do you know your word? Say, It's a ...!” “Show me your fish.”
まとめ	2	フランスでは4月1日に紙の魚を人の背中にこっそり貼るいたずらをし、だまされた人を「4月の魚」と呼ぶことを紹介する。	話を聞き、フランス語の「ボワソン・ダヴリル」を言う。	“In France, children play a trick on April 1.” “They put paper fish on people's backs.” “A person with a fish is an April fish.” “Poisson d'avril!”

板書例

Is it an animal? Yes / No
Is it a food?
Can I eat it?
Is it big?
Is it red?

It's a ____!

🐟 Poisson d'avril = April fish（フランス）

✓ 評価のポイント

- Yes/No の質問を自分から友だちにできているか。
- 答えから考えて、It's a ____! と単語をあてられているか。

👉 つまずきへの手だて

- 質問が出にくい児童には、黒板の質問カードを指さしながら読んでよいことにする。
- 単語がわからないまま時間がきた児童には、先生が最後にヒントを1つ出す。

🚀 発展

- 魚の単語を国名や色に変えて2回戦をする。
- 基本セット p.8 のぬりえで、4月の魚に色をぬらせる。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッチングの絵）
- 基本セット p.8（ぬりえ）



4. ジョークか、フェイクニュースか：メディアと笑いの討論

授業手順書（詳細版）／対象：大学／60分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

報道機関や企業のエイプリルフールの冗談と誤情報の境目について、本文の事例を根拠に英語で意見を述べ、反論できる。

準備

- 発展セット（advanced の英文 When the News Plays a Joke と quiz ・ vocab ・ debate）を人数分
- 論題カード：News organizations should be allowed to publish fake stories on April Fools' Day.
- 進行表（賛成3分・反対3分・作戦2分・反論各2分）とタイマー
- 「許されるジョークの条件」を書く班用シート

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	1957年のBBC『パノラマ』のスパゲッティの木の映像の話を短く紹介し、「楽しかった」という人と「まじめな番組がだますべきではない」という人がいたことを伝える。論題を示す。	論題を読み、直感で賛成か反対かを示す。	"In 1957, a serious BBC program showed spaghetti growing on trees." "Some viewers loved it. Others were angry." "Here is today's motion." "Raise your hand if you agree."
展開1	15	advanced の英文を読ませ、quiz で内容を確認する。1957年の苦情の理由、企業がこの日を使う理由、2020年にグーグルが冗談をやめた理由の3点を表にまとめさせる。	英文を読んで quiz に答え、3つの理由を英語で1文ずつまとめる。	"Read the passage and answer the six questions." "Why did some viewers complain in 1957?" "Why do companies like this day?" "Why did Google stop its pranks in 2020?"
展開2	10	賛成・反対の班に分け、本文の事例と自分で知っている例を使って立論を準備させる。日本の企業の4月1日の発表（2010年代から増えた）も例として使ってよい。	班で立論を3点準備し、相手の反論を予想する。	"Prepare three points for your side." "Use examples from the passage." "You can use examples from Japanese companies, too." "What will the other side say?"
展開3	20	進行表にそって討論を行う。賛成・反対が3分ずつ立論し、2分の作戦時間のあと、2分ずつ反論する。先生は論点を板書していく。	英語で立論と反論を行う。聞く側は相手の論点をメモする。	"The 'for' side, you have three minutes." "Now the 'against' side." "Two minutes to prepare your rebuttal." "Please answer their strongest point."
まとめ	10	立場をはなれ、班で「許されるジョークの条件」を3つ英語で決めて発表させる。例：It must be clear by the end of the day. / It must not use real tragedies. 本文の最後の問い（how do we decide what to believe?）に各自一言で答えさせる。	班で条件を3つ決めて発表する。本文の問いに自分の答えを1文で書く。	"Now work together. When is a joke OK?" "Make three rules." "For example, the joke must not be about a real tragedy." "How do you decide what to believe? One sentence, please."

板書例

Motion : News organizations should be allowed to publish fake stories on April Fools' Day.

1957 BBC Panorama : trust ↔ fun

Marketing : free spread on social media / Japan 2010s

2020 Google : no pranks (COVID-19)

Rules for a good joke :

1. ____
2. ____
3. ____

How do we decide what to believe?

✓ 評価のポイント

- 本文の3つの事例を正しく使い、自分の立場の根拠にできているか。
- 相手の論点を聞き取り、それに直接こたえる反論ができていないか。
- 「許されるジョークの条件」を、具体的に守れる形の英文で書けているか。

♥ つまづきへの手だて

- 英文が難しい学生には、vocab の8語（mislead, harmless, misinformation など）を先に確認させる。
- 反論の型（You said ____, but ____ / That is true, however ____）を書いたカードを配る。

🔥 発展

- 発展セットの summary を書かせ、要約の長さと内容をペアで比べさせる。
- 実際の企業の4月1日の発表を1つ調べ、班で決めた3つの条件にあてはめて評価させる。

📖 使う教材

- 発展セット（quiz ・ vocab ・ paraphrase ・ summary ・ debate）
- このサイトの英語ページ（advanced の英文と和訳）